

【編著書】 Surgeon, D. M.: Transport of oxygen and car-

bon dioxide. in Bishop, C. and Surgeon, D. M.

(ed.): The red blood cell: a comprehensive
treatise. 348. Academic Press, New York, 1964.

*題名中に書名が出現する場合は、引用符“ ”で囲み
イタリック体を使用しない。

六 投稿原稿は、コピーを一部添付すること。原稿は著者校
正の際も原則として返却しないので、手元にコピーを一
部残すこと。

七 著者校正は、原則として原著・総説・研究ノート・広場・
資料を対象とし、初校のみとする。校正は字句の訂正に
留め、組版面積に影響を与えるような改変や、その他の
組み替えは認めない。校正刷りの返送期日を厳守するこ
と。期日までに返却されない場合は責とみなす。

八 刷り上り五印刷ページ(四〇〇字詰原稿用紙で一二枚)
までは原則として無料とし、超過分と図表製版の実費は
著者負担とする。

九 論文別刷は五〇部単位とし実費で作製する。別刷希望者
は校正刷第一頁の上方に部数を朱書すること。

一〇 原稿の送り先

〒一一三 東京都文京区本郷二丁目一一一

順天堂大学医学部医史学研究室内

日本医史学雑誌編集委員会

編集後記

本号はごらんのとおり総会口演の
抄録号です。この抄録の印刷にあた

っては投稿者自身のいわゆる著者校正が行われません。多数
におよぶ抄録のゲラ刷りを著者との間でやりとりすることは、
時間的・物理的に無理があるからです。どこの学会でもそれ
をしているところはないでしょう。したがって誤植のないよ
う、とくにこの抄録号では編集委員が分担して校正を行って
います。ところが校正を見ていると、おそらくは原稿の誤字
であろうと思われるものがしばしばあります。筆写原稿で不
明瞭な字を書いているため、オペレーターが判読を誤って別
字を打ってしまったものについては、極力内容から判断して
校正するようには心がけていますが、ワープロ原稿などで顕
然と打たれていると、たとえ誤字であろうと推察されても、
万一のこともあるので、著者に無断で編集委員が勝手に直す
わけにはいきません。著者に問い合わせるのが親切だとは思
いつつも、ごく限られた時間にそれを行うのは不可能です。
なかには一文字だけでなく、文章が錯誤していると思われる
ものもありますが、原則としてそのまま忠実に印刷せざるを
えないことは、編集者としても辛いところです。このことを
お含みいただき、ことに抄録の提出にあたっては原稿に誤字
のないよう御留意いただきたいと思う次第です。

なお前号から本誌の印刷法が従来の活版から電算写植へと
移行しました。これを機会に投稿規定の見直しを行い、若干
の改訂をはかることにしました。できれば次号あたりから施
行できればと考えています。

(小曾戸 洋)